

報道関係各位

News Release

2020 年 12 月 2 日

マーサー、日本総報酬サーベイ（Total Remuneration Survey）2020 年度の結果を発表

- ・ 参加企業数は 737 社（昨年 679 社）、うち日系企業は 97 社増加し 204 社となり過去最大規模を更新
- ・ ジョブ型に対応した報酬制度の検討に向けたデータ活用の需要の高まりが顕著に
- ・ 最新の調査結果では、日本企業の課長の賞与込み年間報酬で 1,040 万円（昨対比 3%Up）、部長は 1,362 万円（昨対比 6%Up）と、日本のインフレ率 1%前後と比較し報酬水準が上昇
- ・ ハイテク職種（データアナリティクス）を全職種の報酬と比較すると、入社 1～3 年目で日系企業では+3%、外資系企業では+5%、金額にして後者が 111 万円高いことが分かった

世界最大級の人事・組織コンサルティング会社マーサーの日本法人であるマーサージャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 草鹿 泰士）は、日本における報酬に関する市場調査「Total Remuneration Survey（以下、TRS）」の 2020 年版レポートを発表した。

近年、働き方改革の推進や、デジタル人材の需要が高まるにつれて、日本企業においてジョブ型雇用の必要性が論じられるようになってきたが、2020 年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大への対応としてのリモートワークの導入とこれに伴って求められる仕事の明確化やアウトプット重視のタスク管理が、ジョブ型雇用の導入をさらに後押しした。今や、“ジョブ型雇用”への移行は、日本企業にとって大きなトレンドに成長し、多くの企業が、雇用の在り方についてもニューノーマルを模索し始めているといえる。

マーサージャパン プロダクト・ソリューションズ リワーズ 報酬サーベイ総責任者 プリンシパル 児玉由美子は、ジョブ型雇用に対応する報酬データの活用について下記の通り言及している。

「ジョブを通じた「会社と個人の対等な取引」が根本的な理念であるジョブ型雇用において、市場価値に基づいた職種別の報酬制度は重要なピースのひとつです。新しい報酬制度の検討を進めるにも、現行報酬の妥当性を示す目的でも、まずは自社報酬の市場における位置づけを把握した上で、議論をスタートすることが重要です。本サーベイの調査結果は、グロー

バル共通のフレームワークに沿ってデータが整理され、報酬水準データだけではなく報酬・評価に関わる制度情報も含まれており、市場報酬水準と自社水準の比較から包括的な報酬戦略の策定まで、幅広くお使いいただきやすい情報をそろえております。また、マーサーでは市場報酬データの活用に際するサポートとして、データベースの使い方のご案内や他社事例のご紹介、その他レポートサービス等も展開しておりますので、併せてお役立ていただければ幸いです」

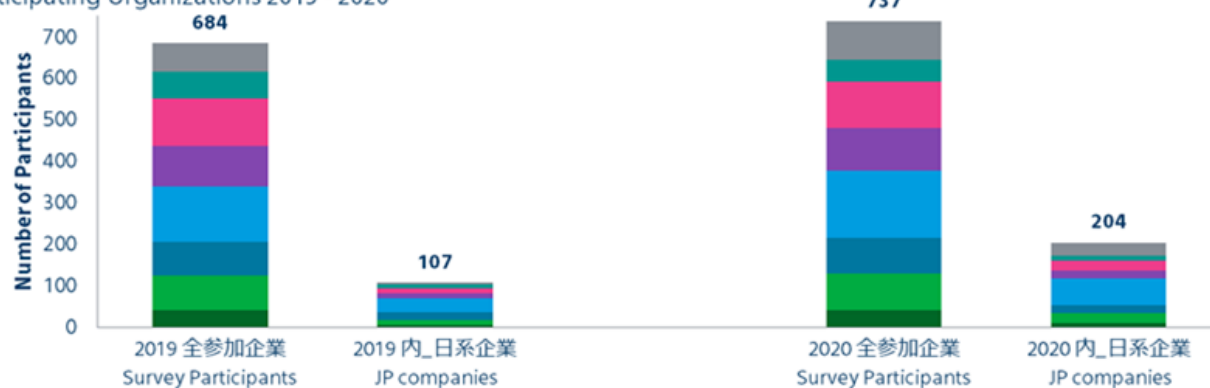
調査結果ハイライト

参加企業数は過去最多の 737 社（58 社増加）のうち、日系企業は 204 社（97 社増加）を占めた

- ・ ハイテク産業、ライフサイエンス産業およびその他産業（増えたのは Fintech 系企業）を中心に、日系企業の参加数が増えた
- ・ 外資系企業（日本法人）と比較して、日系企業（本社）は組織規模が大きいいため、参加企業における大規模組織の参加割合が増加した

総報酬サーベイ参加企業数 2019 - 2020

No. of Participating Organizations 2019 - 2020



	2019	2020
Total	684	737
Others	69	92
Retail	63	53
Life Sciences	114	113
Machinery	98	101
High Tech	134	164
Consumer Goods	81	84
Chemical	83	90
Automotive	42	40

	2019	2020
Total	107	204
Others	5	33
Retail	8	11
Life Sciences	12	24
Machinery	12	20
High Tech	34	64
Consumer Goods	18	18
Chemical	13	25
Automotive	5	9

日本企業の課長の賞与込み年間報は 1,040 万円（昨対比 3%Up）、部長は 1,362 万円（昨対比 6%Up）であった

- ・ 日系企業、外資系企業の報酬水準額を 2019 年水準と比較すると外資系企業はどの職位でも+2%に対して、日系企業は職位が上がるにつれて報酬上昇率が上がった
- ・ 報酬上昇の差は、参加企業変動(日系大企業の参加増)によるものと考えられる。また、サーベイデータは 2020 年 7 月時点の報酬制度を前提に収集されていることから、新型コロナウイルス感染拡大による影響は限定的といえる

日系／外資系の報酬水準比較総現金報酬(手当・賞与込み) 2019-2020

JP/Non-JP TCC Target (includes allowances, STI) 2019 vs 2020



職種別に日系企業・外資系企業の総報酬（手当・賞与込み）を比較すると、営業/マーケティング、データアナリティクス職種の報酬は、全職種中央値を上回っている

- ・ 日系企業、外資系企業の職種別報酬差を比較すると、外資系企業では職種間の報酬差が大きい
- ・ 特に、営業/マーケティング、データアナリティクス職種については、外資系企業では入社 1-5 年目から他職種よりも報酬が高く、その報酬差は年間報酬ベースで 100 万円を超える

日系企業				
職種	一般社員_1-3 年目		一般社員_3-5 年目	
	Entry Professional (P1)		Experienced Professional (P2)	
全職種	4,231,504	100%	5,452,781	100%
経営 / 企画	4,448,678	105%	5,367,251	98%
営業 / マーケティング	4,253,792	101%	5,403,795	99%
データアナリティクス	4,363,815	103%	5,240,000	96%
総務	4,117,893	97%	5,448,847	100%
財務経理	4,194,921	99%	5,548,297	102%
人事	4,124,910	97%	5,302,300	97%
生産	4,259,789	101%	5,632,152	103%
物流	4,264,565	101%	5,581,273	102%

外資系企業				
職種	一般社員_1-3 年目		一般社員_3-5 年目	
	Entry Professional (P1)		Experienced Professional (P2)	
全職種	5,225,136	100%	6,462,442	100%
経営 / 企画	5,062,970	97%	6,075,685	94%
営業 / マーケティング	5,229,000	100%	6,574,879	102%
データアナリティクス	5,470,137	105%	7,112,004	110%
総務	5,461,349	105%	6,662,839	103%
財務経理	5,159,409	99%	6,165,031	95%
人事	5,045,251	97%	6,391,044	99%
生産	4,923,885	94%	6,342,498	98%
物流	5,004,912	96%	6,079,409	94%

マーサー総報酬サーベイ（Total Remuneration Survey）は[こちら](#)をご覧ください。

マーサー 総報酬サーベイ（TRS）について：マーサーが 30 年以上実施している『総報酬(給与・福利厚生)』のコンセプトに基づく市場調査で、一般に総報酬調査・総報酬サーベイとも呼ばれるものです。

Total Remuneration Survey (TRS) の特徴：

- ・ 世界 140 カ国で実施され、グローバルトップを含む 35,000 社以上/1,500 万人以上のトップポジションから非管理職層まで、全役職員の報酬情報を収集、提供しています。
- ・ 世界同一基準で実施されており、国内だけでなくグローバルで横断的にご利用いただけます。
- ・ 基本報酬、固定/変動賞与、各種福利厚生等の報酬水準のみならず、昇給率、賞与支給状況、雇用動向など労働市場のトレンドも確認することができます。
- ・ 日本では、2020 年は 737 社が参加し、日本の報酬調査として圧倒的な規模となります。

###

マーサーについて

[マーサー](#) はより輝かしい未来は築くことができるものと信じています。私たちはクライアントと共に、仕事そのものを再定義し必要な改革に導き、退職制度や年金の投資成果を再構築します。そして、真の健康とウェルビーイングへと導くビジョンを掲げています。全世界約 25,000 名のスタッフが 44 カ国をベースに、130 カ国以上でクライアント企業と共に多様な課題に取り組み、最適なソリューションを総合的に提供しています。マーシュ&マクレナン（NYSE：MMC）グループの一員として、日本においては 40 年以上の豊富な実績とグローバル・ネットワークを活かし、あらゆる業種の企業・公共団体に対するサービス支援を行っています。

マーシュ&マクレナンについて

マーシュ&マクレナン（ニューヨーク証券取引所コード: MMC）は、グローバルプロフェッショナルサービスを提供する企業グループとして、顧客企業にリスク、戦略、人材分野の助言とソリューションを提供しています。[マーシュ](#)（保険仲介とリスクマネジメント）、[ガイ・カーペンター](#)（再保険仲介・コンサルティング）、[マーサー](#)（組織・人事マネジメント・コンサルティング）、そして[オリバー・ワイマン](#)（戦略コンサルティング）から構成されており、年間総収入 170 億米ドル、全世界に 76,000 名の従業員を擁し、世界各地の顧客に分析・アドバイスを提供しています。

お問い合わせ

マーサージャパン株式会社

広報: 天野

Tel: 070 7548 7209

Email: pr.japan@mercer.com